

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 5 部門第 3 区分

【発行日】平成23年8月11日 (2011.8.11)

【公開番号】特開2010-210097(P2010-210097A)

【公開日】平成22年9月24日 (2010.9.24)

【年通号数】公開・登録公報2010-038

【出願番号】特願2009-53454(P2009-53454)

【国際特許分類】

F 2 4 F 5/00 (2006.01)

【 F I 】

F 2 4 F 5/00 M

【手続補正書】

【提出日】平成23年6月27日 (2011.6.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 0 7 】

本発明は、熱交換器、送風機を有する送風室と、圧縮機、冷媒配管を有する機械室とを備えた空気調和機の室外機であって、室外機の室外機本体の表面に手で握って運搬することができるほぼコ字状の取っ手を設け、取っ手を室外機本体の表面に金属製の固定部品により直接に取り付けたものである。

また、本発明に係る空気調和機は、上記の室外機を備えたものである。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 0 8 】

空気調和機の室外機本体には、取っ手が室外機本体の外側から室外機本体の表面に金属製の固定部品により直接に取り付けられており、取っ手を取り付けるための嵌合穴がなく、室外機本体の外側から本体の表面に機械的に固定するので、火災発生時において、火が室外機本体の面で遮断され、そのうえ火災原因を特定することができる。

また、手で握って運搬することができる室外機搬送用の取っ手が設けられているので、運搬時において取っ手に十分手を掛けることができ、持ちやすく、運搬作業性に優れた室外機を得ることができる。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

熱交換器、送風機を有する送風室と、圧縮機、冷媒配管を有する機械室とを備えた空気調和機の室外機であって、

前記室外機の室外機本体の表面に手で握って運搬することができるほぼコ字状の取っ手を設け、該取っ手を前記室外機本体の表面に金属製の固定部品により直接に取り付けたこ

とを特徴とする空気調和機の室外機。

【請求項 2】

前記取っ手を、前記機械室側に前記送風室側より多く設けたことを特徴とする請求項 1 記載の空気調和機の室外機。

【請求項 3】

前記取っ手が金属または樹脂によって成形されるとともに、前記取っ手の握り部を断面ほぼ長円形状、もしくは断面ほぼ円形状としたことを特徴とする請求項 1 または 2 記載の空気調和機の室外機。

【請求項 4】

前記固定部品が金属製のねじからなり、該ねじによって前記取っ手を前記室外機本体の表面に取り付けることを特徴とする請求項 1 ～ 3 のいずれかに記載の空気調和機の室外機。

【請求項 5】

前記取っ手を、金属製の管部材をほぼコ字状に折り曲げ、その両端部をさらに外側に折り曲げて扁平に形成し、前記扁平の部分を前記室外機本体の表面に前記金属製の固定部品により取り付けたことを特徴とする請求項 1 ～ 3 のいずれかに記載の空気調和機の室外機。

【請求項 6】

前記取っ手の幅を少なくとも人の手掌の幅よりも長くし、内側の高さを少なくとも人の指の厚みより高くしたことを特徴とする請求項 1 ～ 5 のいずれかに記載の空気調和機の室外機。

【請求項 7】

前記取っ手が金属または樹脂によって成形されるとともに、その金属または樹脂の素地よりも前記取っ手の握り部の摩擦を大きくしたことを特徴とする請求項 1 ～ 6 のいずれかに記載の空気調和機の室外機。

【請求項 8】

前記取っ手の握り部に人の指の形を模した凹凸を形成したことを特徴とする請求項 1 ～ 6 のいずれかに記載の空気調和機の室外機。

【請求項 9】

請求項 1 ～ 8 のいずれかに記載の空気調和機の室外機を備えたことを特徴とする空気調和機。